

平成29年度重点項目評価・総括（振り返り）	平成30年度重点項目中間評価
①職業実践専門課程における認定要件について、病院等と連携し質の保証・向上に対してより効果的な先進的取組を推進を目指す→提携病院 P T 3件、O T 2件、O R T 1件確保	①職業実践専門課程における認定要件について、病院等と連携し質の保証・向上に対してより効果的な先進的取組を推進を目指す。
②学生募集目標達成（目標：335名）→実績324名	②学生募集目標達成（目標：335名）→6月12日現在見込み 適性AO入試昨年度と同等で推移
③退学率の低減を図る。（目標4.0%）→実績5.1%	③退学率の低減を図る。（目標4.0%）→6月12日現在 退学者3名 長欠4名 通年休学8名 休学3名
④学費完納率目標達成（目標：100%）→実績100%	④学費完納率目標達成（目標：100%）→6月12日現在 分納212名
⑤国家試験取得率の一層の向上を図る。（平成30年3月卒業生）（理学88.7%/全国平81.4%）（作業91.1%/全国平均76.2%）（視能100%/全国平均93.1%）（言語96.4%/全国平均79.3%）	⑤国家試験取得率全学科100%を目指す→国家試験センターと「連携JWEB」を利用しいつでもどこでも国家試験対策ができる環境整備（Wifi設置）既卒者対策→午前中既卒者19名・留年生に図書室を開放し、学習場所を確保。
⑥就職目標達成（目標：100%）→実績：100%	⑥就職目標達成（目標：100%）→6月12日現在 内定1名（就職希望者304名）
⑦教員の更なる資質の向上を目指す。業界との一層の連携強化を図る。44名中20名が修士取得もしくは取得中。	⑦教員の更なる資質の向上を目指す。業界との一層の連携強化を図る。→6月現在 修士課程 教43名中19名取得もしくは取得中。認定は8名取得。
⑧業務効率化を図る情報システム化を一層整備する。（CBT模擬試験、）	⑧WLBを取り入れ業務効率をし、成果を出す。→朝・夕メールで情報共有。時間短縮をはかる。単純作業を外部委託し、業務の軽減をはかっている。安全衛生委員会を強化し、衛生委員を各課に配置。→PT, OT2名, HIMに配置。
⑨学生による授業評価の徹底を図る。（WEBでの授業アンケート実施）	⑨学生による授業評価の徹底を図る。→年4回WEBによる授業アンケート実施。1回済み。速やかに改善をはかる。
⑩卒業生の社会的活躍及び評価を把握するとともに、支援体制を強化する。（全学同総会での表彰）	⑩卒業生の社会的活躍及び評価を把握するとともに、支援体制を強化する。→ゼネラリスト研修を強化。（マネジメント）
⑪施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通り実行する。（男子トイレ改修）	⑪施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通り実行する。→ブラインド改装

⑫防災に対する体制を整備する。（防災訓練を地震・津波、火災の年間2回実施）	⑫インフルエンザ・ノロウイルスなど感染対策を徹底する。→プログレスウォーター、ウエルパスを各階、エントランス、トイレに配置。
	⑬防災に対する体制を整備する。→年2回（火災と津波・地震）避難訓練を実施（6月29日と10月29日）予定。防災セット700名分購入